



消防千葉

2019 No.571 令和元年9月号

令和元年9月1日 編集兼発行人

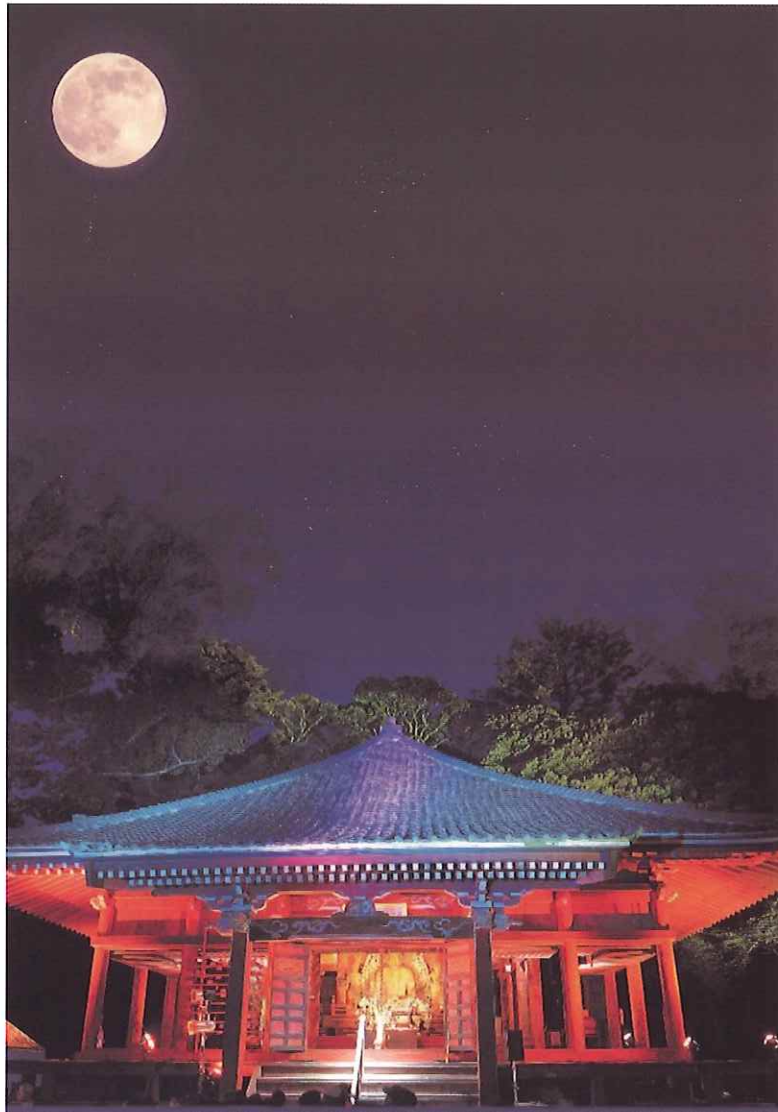
千葉市原市菊間 783-1 千葉県消防学校内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅

TEL0436(37)1710

郵便番号 290-0007

ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>

メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



妙楽寺（睦沢町）長生支部

巻 頭 言

「防災へ つなぐ ちから」

銚子市消防本部 消防長 菅澤 信博



銚子市は、千葉県の最東端に位置し、三方を利根川と太平洋に囲まれ、気候は四季を通じて温暖な地域であります。まちの歴史は古く、江戸時代から利根川を利用した江戸への流通拠点として関東屈指の町に発展「江戸の台所」として繁栄してきました。

平成28年4月には、文化庁による日本遺産として「北総四都市江戸紀行」が認定され、この構成市として今も昔も海と港の町として多くの人を魅了しています。主な産業で特事すべきは漁業であり、黒潮と親潮がぶつかり合う銚子沖は豊かな漁場が広がり銚子漁港は平成23年から水揚げ量が8年連続日本一を誇っています。

また、銚子は古くから景勝地として人々に愛されており、平成24年9月には関東平野の地下にある地層が海岸で観察できる断崖絶壁の屏風ヶ浦などが日本ジオパーク委員会より「銚子ジオパーク」として認定されました。

さて、当市では2001年に市の将来像とし、2025年を目標年次とする総合計画「銚子ルネッサンス2025」を策定しましたが、地方分権の進展や少子高齢社会の進行、東日本大震災を教訓とした防災・減災意識の高まりや人口減少に伴う地域経済の低迷など、当市を取り巻く環境は予想を上回る速さで変化しており、これらの課題を適切に対応するため、総合計画を全面的に見直し、本年3月に新たに策定いたしました。

当消防本部におきましても、平成29年1月に消防本部庁舎を市のほぼ人口重心である場所へ移転新築し、更には将来的な人口減少及び財政状況を考慮して消防署所の再編計画を策定、1署3分遣所から1署2分署への再編を完了させ平成30年9月より新体制での運用を開始したところであります。

「令和」の時代を迎え、新たな常備消防体制が整備されたことから今後は地域防災力の向上を見据え、消防団と共に自助・共助・公助の役割分担により「ひと」の持つ「ちから」を掘り起こし「つなぐ」ことにより、地域における防災力を高め、さらには地元大学、民間企業など地域の様々な団体と連携し、過去の災害の教訓を生かした減災の取組を続けて、市民が安心して暮らすことができるまちづくりを推進してまいります。

最後に千葉県内の消防本部(局)・消防団の益々の発展を祈念し、私の巻頭の言葉とさせていただきます。

令和元年度「防火・防災ポスター展」表彰式

千葉県・(公財)千葉県消防協会・千葉県少年婦人防火委員会

防火・防災についての関心を高め、防火・防災意識の啓発を図ることにより災害の未然防止と被害の軽減に役立てることを目的として、千葉県、(公財)千葉県消防協会及び千葉県少年婦人防火委員会の主催により県下の小中学校の児童・生徒から募集した防火・防災に関するポスター展の表彰式が8月21日(水)千葉県庁本庁舎5階大会議室において、受賞者、受賞者の保護者等多数の御臨席のもと開催されました。

本年度は、県内39の小・中学校から2,071点の作品が寄せられ、厳正な審査の結果、最優秀賞には、小学生低学年の部で野田市立中央小学校3年水谷有和さん、小学生高学年の部で長柄町立長柄小学校4年本吉叶太さん、中学生の部で鎌ヶ谷市立第四中学校3年山田夏実さんが受賞され、優秀賞に白子町立南白亀小学校1年森川大雅さんの作品外5点、千葉県消防協会賞には白子町立南白亀小学校1年唐津湊さんの作品外5点、千葉県少年婦人防火委員会賞には流山市立おおたかの森小学校3年又多嶺さんの作品外5点が選ばれ、それぞれ表彰を受けました。



各賞の受賞者は、次の通りです。

◆ 知事表彰 ◆

●最優秀賞

みずたに 水谷	ゆうわ 有和	野田市立中央小学校	3年
もとよし 本吉	かなた 叶太	長柄町立長柄小学校	4年
やまだ 山田	なつみ 夏実	鎌ヶ谷市立第四中学校	3年

●優秀賞

もりかわ 森川	たいが 大雅	白子町立南白亀小学校	1年
はまべ 濱邊	あきと 瑛斗	白子町立南白亀小学校	3年
いその 磯野	かいり 海里	茂原市立茂原小学校	6年
みやざわ 宮澤	ともき 那輝	長柄町立長柄小学校	4年
すずき 鈴木	きほろ 希萌	船橋市立御滝中学校	3年
わたなべ 渡邊	あや 史	八千代市立八千代台西中学校	2年

◆ 消防協会長表彰等 ◆

●(公財)千葉県消防協会長賞

からつ 唐津	みなと 湊	白子町立南白亀小学校	1年
さいとう 斉藤	るり 琉莉	白子町立南白亀小学校	3年
あきやま 秋山	たいよう 太陽	長柄町立長柄小学校	4年
みやざわ 宮澤	さき 咲葵	長柄町立長柄小学校	4年
あべ 阿部	あかり 朱加里	八千代市立八千代台西中学校	3年
うえだ 上田	ひなの 陽菜乃	市川市立第一中学校	2年

●千葉県少年婦人防火委員会長賞

まただ 又多	れい 嶺	流山市立おおたかの森小学校	3年
のぎ 野崎	しゅり 殊莉	茂原市立茂原小学校	2年
いで 井出	ちはる 千晴	我孫子市立根戸小学校	6年
さくま 佐久間	ゆうり 優李	茂原市立茂原小学校	6年
たつの 辰野	たえ 妙	船橋市立大穴中学校	1年
いがらし 五十嵐	あいさ 愛紗	八千代市立八千代台西中学校	2年

受 賞 作 品

◆知事表彰

☆最優秀賞



野田市立中央小学校 3年
水谷 有和



長柄町立長柄小学校 4年
本吉 叶太



鎌ヶ谷市立第四中学校 3年
山田 夏実

☆優 秀 賞



白子町立南白亀小学校 1年
森川 大雅



白子町立南白亀小学校 3年
濱邊 瑛斗



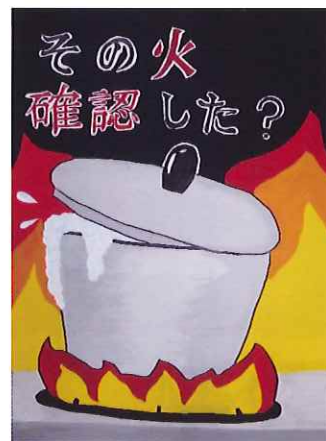
茂原市立茂原小学校 6年
磯野 海里



長柄町立長柄小学校 4年
宮澤 那輝



船橋市立御滝中学校 3年
鈴木 希萌



八千代市立八千代台西中学校 2年
渡邊 史

◆ (公財) 千葉県消防協会長賞



白子町立南白亀小学校 1年
唐津 湊



白子町立南白亀小学校 3年
齊藤 琉莉



長柄町立長柄小学校 4年
秋山 太陽



長柄町立長柄小学校 4年
宮澤 咲葵



八千代市立八千代台西中学校 3年
阿部 朱加里



市川市立第一中学校 2年
上田 陽菜乃

◆千葉県少年婦人防火委員長賞



流山市立おおたかの森小学校 3年
又多 嶺



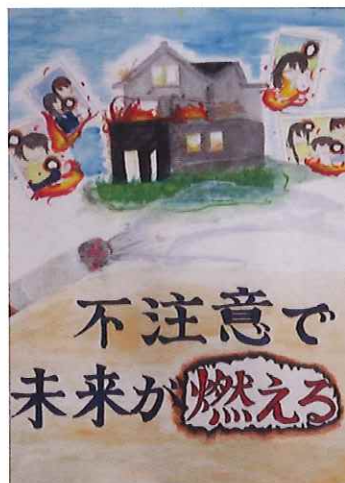
茂原市立茂原小学校 2年
野崎 殊莉



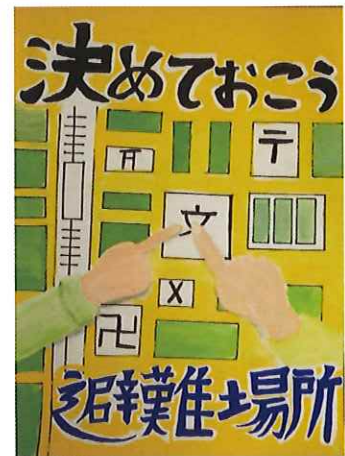
我孫子市立根戸小学校 6年
井出 千晴



茂原市立茂原小学校 6年
佐久間 優李



船橋市立大穴中学校 1年
辰野 妙



八千代市立八千代台西中学校 2年
五十嵐 愛紗

第48回消防救助技術関東地区指導会

～ 千葉県消防長会 ～

7月5日(金)長野県及び7月18日(木)群馬県において、一般財団法人全国消防協会関東地区支部主催による、第48回消防救助技術関東地区指導会が開催されました。

本指導会には、1都9県(173消防本部)から選抜された668名の隊員が、陸上の部3種目と水上の部7種目及び技術訓練に出場し、8月25日(日)岡山県岡山市で開催される第48回全国消防救助技術大会を目指して日頃錬磨した救助技術を競いました。

千葉県からは12消防本部91名の隊員が県代表として出場、応援に駆け付けた皆様の大声援を受けて、日頃の成果を発揮し、以下の隊員が関東地区代表として全国大会への出場権を獲得しました。



開会式



陸上の部

☆ 引揚救助 ☆



市川市	消防司令補	金子 真也
	消防司令補	田島 誠光
	消防士長	武田 勇氣
	消防士長	田中 道智
	消防士	遠藤 大堯



浦安市	消防士長	金林 正人
	消防副士長	西 雄真
	消防副士長	大塚 純也
	消防士	松崎 亮斗
	消防士	鈴木 大

☆引揚救助



野田市	消防士長	荒川	清
	消防士長	鈴木	裕貴
	消防士長	森田	恭平
	消防士	戸塚	祐希
	消防士	小久保	耀太

☆ロープブリッジ救出



匝瑳市	消防司令補	古作	侑也
	消防士長	土屋	大樹
	消防士長	森	裕紀
	消防副士長	仲田	司

☆ロープブリッジ救出



柏市	消防士長	伊藤新太郎
	消防士長	関直樹
	消防士長	月舘健太郎
	消防士長	川原達也

水上の部

☆基本泳法



山武郡市	消防副士長	山田	浩貴
------	-------	----	----

☆溺者搬送



松戸市	消防士長	関根	卓磨
	消防士	月本	貴広

6月4日千葉県大会結果による全国大会出場者（陸上の部） … 6・7月号に掲載

☆はしご登はん

安房郡市	消防士長	石井	択実
------	------	----	----

☆ロープ応用登はん

匝瑳市	消防士長	古瀬	尚樹
	消防副士長	佐藤	祐輔

☆ロープブリッジ渡過

旭市	消防司令補	大久保一樹
----	-------	-------

☆ほふく救出

香取広域	消防士長	遠藤	竜次
	消防副士長	一鍬田和樹	
	消防士	篠塚	拓紀

おわりに

全国大会へ出場される隊員のご活躍を期待しますとともに、皆様からのご声援もお願いいたします。

わが町の消防団 ① 匝瑳市消防団

匝瑳市そうさは、千葉県の北東部に位置し、市の中心部をJR総武本線と国道126号が東西に走り、成田方面とは国道296号で結ばれています。

市の総面積は、101.78平方キロメートルです。北部は、谷津田が入り組んだ複雑な地形の台地部となっており、里山の自然が多く残されています。南部は、平坦地で市街地を除いてほとんどが田園地帯となっており、九十九里海岸に面しています。



匝瑳市消防団は、団本部・12分団41ヶ部で組織し、消防団員652名（令和元年8月1日現在）、指令車1台・消防ポンプ自動車10台（うち水槽付3台）・小型動力ポンプ付積載車31台（うち水槽付12台）の消防車両を有し、約3万6千人の市民の生命・財産を守っています。

6月には匝瑳市消防操法大会を開催し、匝瑳市横芝光町消防組合消防署員の指導の下に行われる、連日連夜の厳しい訓練の成果を披露しています。この大会において、ポンプ車操法及び小型ポンプ操法の部上位2部隊が、千葉県消防協会海匝支部かいそう消防操法大会に出場し、千葉県消防操法大会への出場を目標に訓練を重ねることになります。なお、今年度の海匝大会では、ポンプ車操法の部において、見事最優秀賞を受賞し、第55回千葉県消防操法大会への出場を果たし、海匝支部の代表として健闘しました。11月には秋の火災予防運動にちなみ、各々貸与された消防ポンプ等資機材の操作方法、基本的な規範の習熟度を再確認するため、実戦に即応した放水訓練を実施しています。年末には歳末特別警戒を実施し、市民に安心して新年を迎えられるよう、火災予防を呼びかけています。さらに年が明けて1月には

消防団の主な年間行事として、5月には全団員を対象に消防団員としての心構え・知識の習得や消防団員の基礎となる規律訓練を行い、団員の資質向上を図っています。



新春恒例の消防出初式を挙行し、団員は更なる団結・士気高揚の決意を新たにして臨んでいます。

現在、匝瑳市消防団は団員の被雇用化や少子高齢化が進み、団員の確保に苦慮しています。今後は、機能別消防団員の導入を行い、消防団の活性化を図ることで、引き続き市民の生命と財産を守っていきます。

わが町の消防団 ② 酒々井町消防団

酒々井町は、千葉県の北部、北総台地に位置し、都心から50キロメートルの圏内にあって、北西部には印旛沼、東南部には北総台地を配し、緑豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれています。

歴史的には、旧石器時代の遺跡や国指定史跡の本佐倉城跡など貴重な歴史文化遺産が多数存在する歴史と伝統に包まれた町です。

一方で、住宅開発に伴う人口増加により住宅都市へと大きくその姿を変え、それまで6千人前後であった人口も今では2万人を超えるまでになりました。また、酒々井インターチェンジの開通とともに酒々井プレミアムアウトレットが開業するなどし、町の知名度も飛躍的に向上し、本年は町制施行130周年の節目を迎え、「日本で一番古い町」として今後もさらなる活性化が期待されます。



酒々井町消防団は、関根勇夫団長以下165名（13分団編成）で組織され、消防ポンプ自動車2台小型動力ポンプ付積載車11台を配備しており、町民の安全安心のため、地域に密着した活動を行っています。

主な行事は、出初式をはじめとする恒例行事や、各種訓練、啓発活動、各地区での夜間警戒活動等を行っています。

訓練については、操法訓練をはじめ、規律訓練や無水利地区を想定した中継放水訓練や情報伝達訓練、救

急救命講習、町の防災訓練への参加など、いつ起こるか分からない災害に備え消防団員としての知識・技術の向上を図っています。

また、今年度は、佐倉市八街市酒々井町消防組合主催で消防組合及び構成市町消防団による合同訓練、緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練への参加を予定しております。

啓発活動では、町内の小学校において消防団員への理解促進、また、次代の消防団員の確保育成のため、社会科授業の一環として特別授業を開催し、消防団活動の紹介や、消防車両への乗車体験等を実施するほか、ふるさとまつりにおいて消防団PRブースを設けて、団員募集の啓発活動を開催しています。

そのほか、地域の祭りの警備や消防以外での地域行事にも積極的に参加しており、地域での消防団への期待と役割は重要なものとなっています。



近年の全国的な大規模災害の発生を受け、消防団への期待と役割は今後ますます大きくなっていくことが想定されます。

我々酒々井町消防団は、今後も地域に必要不可欠な組織として、町、消防署、地域と連携し、災害に強い「100年安心して住めるまち」を目指して活動を行っていきます。

東 西 南 北

東 西 南 北 広報担当者の育成 千葉市消防局

令和元年6月18日、19日に広報実務研修を開催しました。これは消防局の各課、各署のホームページに携わる職員を対象に実施し、実際にパソコンの操作を行いながら研修を行いました。千葉市消防局では、SNSを活用した広報活動も実施しているため、SNSの活用方法も改めて学習しました。

現場の職員であっても“広報”の必要性を認識する必要があります。安全・安心な情報が、市民にしっかりと伝わるように、今後も継続的に“広報担当者”を養成していきます。



東 西 南 北 救急活動総合シミュレーション訓練 松戸市消防局

松戸市消防局は、令和元年7月10日と11日の2日間、松戸市消防局講堂において、救急隊全隊（11隊）による「救急活動総合シミュレーション訓練」を実施した。

この訓練は、安全で迅速かつ合理的な救急活動を構築できることを目標とし、救急現場で起こり得る想定に対しての実働訓練を実施後に検討会を行い、指導救命士、方面担当救命士及び松戸市立総合医療センターの救命救急センター医師から活動に対するフィードバックを受ける2部構成の内容で実施した。

参加した救急隊員からは、このような訓練を実施し、医師から直接フィードバックを受けることができたことはとても良い刺激であった。頂いたアドバイスを現場での活動に活かしたいと語った。



東 西 南 北 『交通事故発生』交通救助事案対応研修を実施！ 柏市消防局

柏市消防局では、令和元年7月13日（土）、柏市内に所在する、メタルリサイクル株式会社千葉営業所（自動車リサイクル業者）の協力を得て、特別救助隊員を対象とした交通救助事案対応研修を実施しました。研修会は、最新救助技術を修得している隊員がアドバイザーとなり、廃棄車両を活用した車両切断要領及び救出要領を実践しました。

この研修により、今年度入隊した新人隊員をはじめ参加した全隊員の知識及び救助技術の向上を図ることができました。

柏市消防局では、今後も研修を重ね、市民の皆様へ安心を与えられる消防活動を目指します。参加人員28人、参加車両7台。





中高層建物における火災防ぎょ合同訓練を実施

四街道市消防本部

四街道市消防本部では、令和元年7月18日(水)、18日(木)の両日、千葉県消防学校の協力を得て、当該訓練施設を使用した合同訓練を市内各署の消防隊を対象に実施しました。

訓練内容は、耐火構造の中高層建物における火災を想定したもので、熱や煙の特性を理解し、当該訓練施設に設置されている消防用設備等並びに各消防用資機材の取扱いを含めた基本手技の確認を重点的に行いました。

この訓練を通じて、隊長及び各隊員の中高層建物火災における連携の重要性を再認識することができ、火災防ぎょに関する個々の能力向上に繋げることができました。

今後も市民の生命、身体及び財産を災害から守るため、災害現場に生きる訓練を実践し、日々精進して参ります。



水難事故対応訓練及び無人航空機(ドローン)による上空撮影訓練を実施!

柏市消防局

柏市消防局では、令和元年7月19日(金)、手賀沼にて水難事故が発生したとの想定のもと、各隊初動体制の確立及び本市初導入となるドローンの俯瞰映像を活用した水難事故対応訓練を実施しました。ドローンのカメラ映像から得られた情報を活動隊に情報提供することで、迅速な救助活動を実施することができました。また、赤外線カメラ映像及び俯瞰映像を、指令センター及び仮災害対策本部モニターへ電送することにより、いち早く各関係機関との情報共有を図ることができました。

今後も日々訓練を重ね、水難救助活動の人命検索をはじめとし、災害活動の記録等、様々な用途で活用し、より迅速で確実な人命救助体制の確立に努めてまいります。参加人員59人。



救命講習を学べる演奏会

千葉市消防局

令和元年7月20日、消防音楽隊「サマーコンサート」を開催しました。約250名の方が参加した今回は、「救命講習」をテーマに、来場されたお客様の中から3名選び、舞台上で胸骨圧迫を体験していただきました。アンケートには「今度時間を作って、救命講習を受けようと思った。」など書いてあり、大変興味を持って頂けました。

千葉市消防音楽隊は“学べる演奏会”として、これからもコンサートを開催していきます。



東 西 千 葉 県 消 防 長 会 救 急 研 修 会 を 開 催

東 南 北 習 志 野 市 消 防 本 部

習志野市消防本部では、令和元年7月26日(金)に千葉県消防長会救急研修会開催地事務局としてサニーカミヤ氏を講師に迎え「救急隊員の労務管理」について、県内27消防(局)本部より124名が参加し研修会を開催致しました。

近年、救急出場件数は年々増加しており、救急隊員の労務管理等の対策は各消防(局)本部においても検討課題のひとつであります。

この研修会で課題の検討、エモーショナルインテリジェンス(感情知能)と倫理的けがの予防及びパブリックハラスメント対策について会場全体で共有をはかりました。

今後、各消防(局)本部において対策及び改善につながる研修会となりました。



東 西 ZOZO マリン スタジアム で 消 防 団 PR 活 動 を 実 施

東 南 北 千 葉 市 消 防 局

8月21日ZOZOマリンスタジアムで、消防団PR活動を行いました。

野球観戦前のひと時、ホースをボールに見立てた「ホース延長ボウリング」やスタジアム内のスクリーンに、「千葉市消防団PR動画」を投影し、楽しんでもらいながら消防団の活動を伝えました。

結果、1名の入団に繋がったため、PR活動の成果を得ることが出来ました。

消防団はこれからも“地域を守るヒーロー”として、住民の安心と安全を守ります。



東 西 船 橋 市 消 防 訓 練 セ ン タ ー に お い て BC 災 害 対 応 訓 練 を 実 施

東 南 北 船 橋 市 東 消 防 署

船橋市東消防署では、今年9月に開催されるラグビーワールドカップや来年開催予定の東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、テロ災害を想定したBC災害対応訓練を船橋市消防訓練センターにおいて、実施しました。

今回の訓練は、7月29日～31日の3日間、合計139名の隊員が参加し、除染活動要領の確認及び技術向上を目的に、連日30℃を超える炎天の中、BC災害時の除染テント設置をはじめとする訓練が行われました。

また、今後も継続して同様の訓練や警察・鉄道会社等の関係機関とも連携した訓練を計画することで地域全体の災害対応能力の向上に努めていきます。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和元年9月

- 1日 第40回九都縣市合同防災訓練・中央会場
- 12日 第38回全国消防殉職者慰霊祭
- 19日～20日 第25回全国女性消防団員活性化青森大会



2019年度 全国統一防火標語
「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」

令和元年
秋の交通安全運動
 9月21日(土)から9月30日(月)
 スローガン
～ 身につける 夜道のお守り 反射材 ～

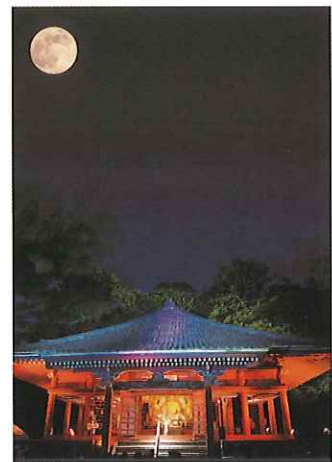
<表紙の説明>

妙楽寺（睦沢町）長生支部

毎年9月中旬、睦沢町の妙楽寺で開催されている野外のコンサートイベント「観月の夕べ」の風景です。ライトアップされた本堂は幻想的で、演奏だけでなく視覚でも楽しむことができます。

なお、妙楽寺は平安時代に慈覚大師によって創建されたと伝えられる由緒ある寺で、中世には修験場として栄えました。

本堂には、国の指定重要文化財である木造大日如来像のほか、木造不動明王立像1体と木造毘沙門天立像1体が安置されています。普段、格子越しでしか見ることができない大日如来像の開帳を毎年2月頭の「八日祭」において行っております。どちらも貴重な機会ですので、是非御参加ください。



<記事の訂正について>

令和元年8月号の7ページ、「目良和夫協会顧問会会長の万歳三唱」と記載すべきところ「米良和夫協会顧問会会長の万歳三唱」と記載誤りがありましたので、お詫びして訂正します。